

製品名: リン酸化ヌクレオリン (T76) ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号:** AMRe84796

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	リン酸化
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウム、0.05% 保護タンパク質、50% グリセロールを含む PBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:2000,IHC 1:100-1:200
分子量	Calculated MW: 77 kDa ; Observed MW: 100 kDa

抗原情報

遺伝子名	Phospho-Nucleolin(T76)
別名	MS1116; NCL; Nucl; Nucleolin; Protein C23;;p-NCL (T76)
遺伝子 ID	
SwissProt ID	P19338
免疫原	T76 のリン酸化部位周辺のヒト NCL 由来の合成ペプチド

背景

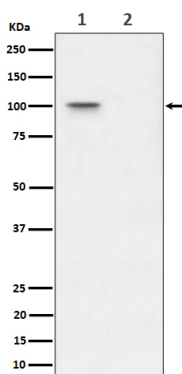
ヌクレオリンは、増殖中の真核細胞の主要な核小体タンパク質です。核小体内クロマチンおよびプレリボソーム粒子に存在し、ヒス

トン H1 に結合してクロマチンの脱凝縮を誘導します。プレ rRNA 転写およびリボソームの組み立てに関与すると考えられています。転写伸長過程においても役割を果たす可能性があります。5'-UUAGGG-3'リピートを持つ RNA オリゴヌクレオチドは、テロメアの本鎖 DNA の 5'-TTAGGG-3'リピートよりも強く結合します。

研究分野

-

画像データ



(1) 293T 細胞溶解物、(2) ラムダホスファターゼ溶解物で処理した 293T 細胞におけるリン酸化ヌクレオリン (T76) 発現のウエスタンブロット分析。